



イクラ状況



昨年の大不漁で異常な高値となった北海道産のイクラ。消費者を無視した価格形成は販売にも影響。昨年の年末では前年比で6割前後高いキロ1万円ほどに跳ね上がりました。結局、ロシア産やアラスカ産に消費がシフトし、高値イクラの在庫を抱えたままになっている状況です。今年は昨年のような異常な価格はないでしょうが、高値の在庫を調整しながらの出荷や、今年の漁獲が依然として低調であることから価格は従来水準からすれば高値であることは間違いなさそうです。



取扱い商品 「9割資源心配なし」

日本水産は国内外のグループ45社が取り扱う水産物の資源状況調査結果を発表しました。公的データを活用し、取り扱う天然魚の88%が「資源に心配なし。」と判断しました。尚、「心配がある。」が3%、「不明」が9%。同調査は17年の2月から行われたそうです。海洋管理協議会(MSC)、国連食糧農業機関(FAO)データ、米国NGOが作成するデータが判断根拠となったそうです。資源枯渇が叫ばれる中、ちょっぴり安心のニュースです。

入荷情報 いよいよ、カニ解禁！



いよいよ、**加能ガニ(ズワイガニ)**の解禁です！石川県から島根県までのズワイガニ漁は一斉に11月6日解禁(出漁)し、11月7日に初売りとなります。一般に“ズワイガニ”と呼ばれる雄ガニの漁期は11月6日～3月20日、今年は“**コウバコガニ**”と呼ばれるメスガニは11月6日～12月いっぱいまで(石川は29日)。世界的にカニの需要が高まっている中、今年も高値推移が予想されます。また、脱皮後間もない**ミズガニ**は石川県、京都府が禁漁としています。**福井県**は2月19日～3月20日の30日間を漁期としています。カニシーズンを迎えたしばらくの間、漁獲がカニ漁に集中する関係上、**地物の甘エビ**が**品薄になること**がありますのでご注意ください。**タラ**は小型の状態が良く、大型は11月中旬以降から本格的に入荷してきます。その頃には子(白子)もしっかりして来ると思います。**地物ブリ**の入荷はもう少し先の様です。割安のフクラギ、ガンドといった小型の入荷はあるものの入荷見込みは少なめと予想されています。また昨年好調だった**カマス**の入荷は現時点では少なめ。今後も低調に推移するとの見通しです。